

アニメ制作教室イベントのご提案

(小中学生対象イベント)

株式会社ネット・ドゥ



第8回(2003年)アニメーション神戸における「神戸こどもアニメーション教室」の様子

目次

1. はじめに
2. ネットアニメートEVA ソフトとは
3. 当社のアニメに関する活動
4. 最近の実績
5. アニメ教室イベントの内容
6. 準備いただくもの
7. イベント費用
8. アニメ教室イベントの取材記事

1. はじめに

近年、欧米・アジアにおいて、日本を発信源とした、漫画・アニメーションが注目され知財立国を目指す政府もアニメーション等のコンテンツ産業の保護育成をうたうようになってきました。又、国内各地の教育現場においても、総合学習の時間(神戸市)や文化祭などでアニメーション作成を積極的に取り入れる動きが目立ってきております。

(株)ネット・ドウは、2002年からアニメーション作成ソフトに関与し、2002年第7回・2003年第8回アニメーション神戸において「神戸子どもアニメーション教室」を神戸市との共催で開催いたしました。この実績を踏まえ、シャープ(株)と共同で、幼児から大人までが簡単にアニメーションが作成できるパソコン向けソフトウェア「ネットアニメートEVA」をリリースいたしました。また、これを期に、他に類を見ない「アニメ制作教室イベント」を企画・運営を行うビジネスを展開いたします。日本各地の各種の催しにおいて親子参加型のイベントとしてご検討頂ければ幸いです。

(株)ネット・ドウの沿革

- 2001年8月 会社設立
- 2001年9月 神戸市より「ベンチャービレッジ」制度の認定を受ける
- 2001年12月 携帯電話用シール販売のサイト「貼貼屋」をOPEN
- 2002年5月 シャープ(株)製 アニメーション作成ソフト「EVA」の海外向け販売開始
- 2002年11月 神戸市主催「第7回アニメーション神戸」にてアニメ教室の開催
- 2003年8月 シャープ(株)と共同でアニメーション作成ソフト「ネットアニメートEVA」の企画・開発、及び販売開始
- 2003年8月 神戸市主催「第8回アニメーション神戸」にてアニメ教室の開催
- 2003年9月 神戸市教育委員会にて、アニメーション作成ソフトの講習会開催
(神戸市立中学校の教師対象)

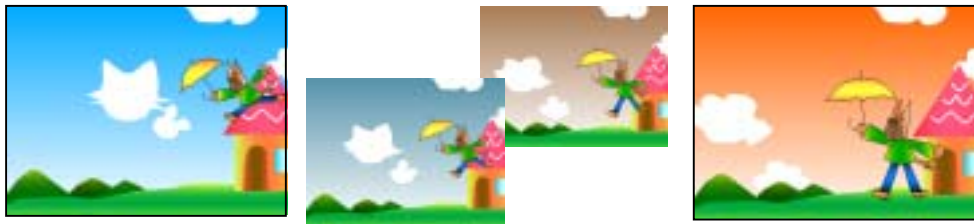
(株)ネット・ドウ代表者:栗原達也の略歴

- 1977年4月 (株)ワールド入社
情報システム部、社長室、経営企画室勤務
- 1997年4月 (株)ワールドクリエイティブラボ(株)ワールド関連会社)の取締役就任
- 2001年5月 (株)ワールドクリエイティブラボを退職
- 2001年8月 (株)ネット・ドウを設立 現在に至る

2. ネットアニメート EVA とは

ネットアニメート EVA は、「誰でも簡単にアニメーションが作れる」をコンセプトに、「ユーザーインターフェースや機能はどうあるべきか」、という研究成果から生まれたアニメーション作成ソフトです。

自分で描いた絵が動くという新鮮な驚きと、美しい表現による感動を与え、更に自ら考え工夫するというクリエイティブな能力を育みます。



(2枚の絵が自動作成されます)

ソフトの仕組み

描いた絵をコピーし、形や色を変えると再生時に中間の動きを自動的に作成しますので、イラストをたくさん描かなくても、なめらかなアニメが作成できます。

- * 神戸市立中学校全85校にアニメーション作成ソフト「EVA」が導入され、総合学習の時間に活用されています。
- * 幼稚園児～大人までが、10秒～1時間のアニメーション作品を作成できます。

3. 当社のアニメに関する活動

当社を含め、神戸市、シャープ(株)、(株)さくらケーシーエスにて Web アニメコンテスを開催しております。

- * 小学生以下の部、小中学校の部、一般の部に分かれ、全国規模で開催。

ご参考サイト

<http://webcon.kcs.co.jp/>

4. 最近の実績

- 1、2002年第7回アニメーション神戸(主催 神戸市)において「神戸こどもアニメーション教室」を2日間開催
- 2、たかとりコミュニティセンターにて「子供アニメーション教室」を開催
- 3、2003年第8回アニメーション神戸(主催 神戸市)において「神戸こどもアニメーション教室」を2日間開催
- 4、神戸市教育委員会にて、アニメーション作成ソフトの講習会開催
(神戸市立中学校の教師対象)

5. アニメ教室のイベントの内容

イベントの内容

- 1、EVA の簡単な使い方の説明 (15分)
- 2、参加者が自由に作品を作る(45分)
- 3、参加者持ち帰り用の作品をフロッピーに保存(10分)
- 4、参加者全員の作品を全員でみる(20分)

イベント開催時間

- 1、10時30分～12時
 - 2、13時～14時30分
 - 3、15時～16時30分
- * 1回あたりの生徒数 10名～15名

6. 準備いただくもの

会場、パソコン、机、保護者の椅子

プロジェクター(講師用のパソコンを映し出す。

生徒の作品を最後に映し出す)

* ソフト一式 持ち帰り用フロッピーは、当社が用意いたします。

7. イベント費用

当社宛にお電話、メールにてお問い合わせください。

上記費用に関し、お見積もりをさせていただきます。

電話 078 - 252 - 7512 FAX 078 - 252 - 7513

代表メール inf@net-do.com

8. アニメ教室のイベント取材記事

(出典元「KMICニュース第173号掲載」)

KMIC(神戸マルチメディア・インターネット協議会)は、神戸を中心とした地域の産官学の各界からの40余の企業・団体にて運営されている協議会です。

06:「神戸子どもアニメーター教室」取材レポート

8月16日(土)・17日(日)、中央区加納町のパソコンスクールで「神戸子どもアニメーター教室」が開催されました。昨年に続いて2度目の今回も、多数の親子が参加し、思い思いのデジタルアニメ制作を体験しました。その模様をレポートします。

「神戸子どもアニメーター教室」とは

「神戸国際マルチメディア文化都市構想(KIMEC 構想)」を推進する神戸市では、世界的に評価の高い日本のアニメーション文化とデジタル技術を融合し、マルチメディアクリエイターの発掘・育成、またデジタル映像産業の振興・集積を図るため、平成8年度から「アニメーション神戸」(<http://anime-kobe.kimec.ne.jp>)を開催しています。その一環として行われたのが、今回の「神戸子どもアニメーター教室」です。

簡単なパソコン操作で、デジタルアニメーションの制作を体験し、アニメーションの面白さや、作る楽しみを感じてもらおうと行われたこのイベントには、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたち50名、約40組の親子が参加しました。

アニメソフトの基本を学ぶ

先生から簡単な説明を受けると、早速、アニメソフト「ネットアニメートEVA」(<http://net-do.com/>)を開いて操作を開始。画面には、子どもの興味をひく白いお絵書きスペースと、色とりどりのお絵書きツールバーが現れます。

手始めに、円形を描きます。ツールバーの「まるをかく」をクリックし、マウスの左側中心を引っ

張るように動かすと、円形が大きくなったり、小さくなったり…。その不思議な動きに、緊張していた子どもの表情も、イキイキと輝きはじめました。

出来上がった円形は、楕円形や、画面からはみ出しそうな大きな円形など、柔軟性に富み、それぞれに個性が感じられるものばかりです。これで1コマ目が完成しました。

2コマ目は、描いた円形の各ポイントをマウスで伸縮させ、さらに複雑に変形させていきます。その動きは、まるで1本の輪ゴムが伸びたり縮んだりするかのよう。次に、色や形、位置を変えたり反転させると、ますます不思議な形状へと変化していきます。ここまでの基本制作をプレイモードで再生すれば、アニメーションが完成です。

さっそく自由制作にチャレンジ！

基本制作をマスターしたら、いよいよ自由制作に挑戦です。カチ、カチ、カチ…とマウスの音だけが響く中、画面上には、人や動物などをモチーフにした楽しい絵が創り上げられていきます。慣れないマウスや、ツールバーにちょっと触ただけで、思いもかけない形に変化することもあり、そのたびに笑いが起こりました。

しかし、形にこだわるあまり、わずか1、2コマとなかなかページ増えません。そこで、先生から「アニメーションは、ページを増やせば増やすほど動きがでできます。1000ページまで作れますので、どんどん作ってくださいね」とのアドバイスも。

「ちょっと難しいけど、自分の描いた絵が動くのが面白い」と、夢中で画面に向かう開明中学校1年生の薄井南早君をはじめ、全員が終了までの僅かな時間を惜しみ、黙々と制作していたのが印象的でした。

完成作品をみんなで鑑賞！

約20分の制作時間の後、完成した作品をフロッピーに保存します。そして、全員の作品の上映会です。先生が用意した音楽に合わせ、1つひとつを鑑賞しました。

シンプルな線でキックボクシングの動きを描いたものや、人が魚に食べられたと思ったら、実は水槽の魚だったというユニークなストーリーのもの、さらに幾何学的な模様の変化が1分以上続く大作、またはセリフ付きのものまで、その出来栄えや面白さに、鑑賞のたびに教室は笑い拍手に包まれました。

終了後、ユニークなカエルの動きを描いた、岩岡小学校5年生の木下裕暉くんは、「エンピツみたいに自由に書けないから、最初は難しいと思ったけど、やってるうちにコツがわかってきました。自分では上手にできたと思います」。また、鹿ノ子台小学校4年生の西橋知可ちゃんは、「自分の絵を動かせるのが面白い。アニメーション作りに興味が出てきました」。

これらのEVA作品は、インターネット上の「Web アニメコンテスト」(<http://anime-kobe.kimec.ne.jp/webcon>)でも募集中です。

夏休みの思い出に、楽しい経験ができて満足そうな子どもたち。この体験がきっかけとなり、未来の神戸を担うクリエイターが登場する日を楽しみにしています。

